

## 7. 121系統から140系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
121	新横浜駅前	八反橋、羽沢団地前、羽沢貨物駅、川島住宅、上星川、和田町	保土ヶ谷車庫前	港北		C	中型車運行多数
121系統解説	かつては新杉田駅から金沢工業団地に至る路線の一つがこの系統番号を名乗っていました。先の117系統同様、金沢シーサイドラインの開業の影響を受けてシーサイドライン開業の約1年後に廃止となりました。その後、現在の系統として復活しました。新横浜駅から又口橋、八反橋へ向かいます。八反橋では右折して羽沢町方面に行き、東泉寺前で左折、さらに三枚町で右折します。JR貨物の横浜羽沢駅を通り川島住宅を経て国道16号線に出ます。国道16号線を走り上星川、和田町を経て、峰小学校で右折し、保土ヶ谷車庫に至ります。						
122	東神奈川駅前	新町、テクノウェイブ(循環)	東神奈川駅前	鶴見		RC	土休日、年末年始運休 朝夕のみの運行(午後の1回を除いて一方循環線) 中型車運行多数
122系統解説	こちらもかつては新杉田駅から金沢工業団地に至る路線の一つでした。現在の122系統は東神奈川駅から新たに開発されているテクノウェイブ地区への路線です。東神奈川駅を出て、国道15号線との交差点で左折。次の新町で右折し、テクノウェイブ地区に入ります。循環路線なのですが、実際のところはテクノウェイブまで行ってそのまま折り返す形になっています。						
123							
123系統解説	長津田駅と若葉台中央を結ぶ路線でした。23系統の中山～長津田・奈良北団地系統と青葉台～若葉台中央系統をくっつけたような路線でしたが、十日市場駅を通らず十日市場の交差点で曲がっていました。それが災いしたのかあまり乗客のない路線でした。また新たに40系統が長津田駅と若葉台中央を結ぶようになってからは1時間に1本程度の運行となっていました。不遇な運命をたどった路線で、2006年3月18日に廃止となりました。123系統ですが、元々はこの路線も金沢地区の路線で新杉田駅からなぎさ団地方面の路線でした。この路線については一度123系統で廃止の後、61系統の子系統の一つとして復活しています。						
124	笹山団地	上菅田町、鴨池大橋、ららぽーと横浜、石橋、川和中学校前、大丸	センター南駅	緑		C	笹山団地発のみ運行
	笹山団地	上菅田町、地蔵前、鴨池大橋	ららぽーと横浜	緑		C	早朝、深夜笹山団地発のみ運行
	センター南駅	大丸、川和中学校前、石橋、ららぽーと横浜、鴨池大橋、上菅田町、笹山団地	笹山団地中央	緑		C	早朝、深夜ららぽーと横浜発のみ運行
	ららぽーと横浜	藪根、鴨池大橋、地蔵前、上菅田町、笹山団地	笹山団地中央	緑		C	センター南駅発のみ運行
124系統解説	2004年2月9日に運行を開始した路線です。運行開始当初は笹山団地から新設された鴨池大橋を渡り石橋まで走る路線でした。鴨居駅の駅前には行かず鴨居駅近くの鴨池大橋の上に「鴨池大橋(鴨居駅入口)」バス停を設けて鴨居駅への便を図っています。鴨居駅まで200mほど歩く必要がありますが、鴨居駅前周辺の渋滞を避け、バスの定時運行が行えるよう考えられた路線になっています。 2007年3月15日のららぽーと横浜オープンに伴いららぽーと横浜に乗り入れるようになりました。また、310系統を併合するような形でセンター南駅まで路線が延長されました。なお、センター南駅～ららぽーと横浜間の区間便は引き続き310系統を名乗ります。 かつては根岸駅とスカイウォーク前間(ペイブリッジ経由)を結ぶバスがこの系統を名乗っていました(土曜、休日運行)。スカイウォークとマイカル本牧、三溪園を結ぶ路線として期待されていたのですが、乗客数が伸びず廃止となりました。						

## 7. 121系統から140系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
125							
125系統解説	8系統の一部をみなとみらい地区経由で運行するようにしたのが125系統でした。横浜駅を出て、高島町ガードの手前で左折し、みなとみらい地区に入ります。パシフィコ方面には行かず桜木町駅に直進します。桜木町駅から先は8系統と同一の経路で運行されていました。2004年2月1日のみなとみらい線開業時にみなとみらい線との並行区間が多い事から2004年1月31日の運行で廃止となりました。						
126	根岸駅前	間門、和田山口、小港橋、本牧ポートハイツ前、三菱本牧工場前、本牧市民公園前	根岸駅前	本牧		C	循環は一方循環 本牧原発三の谷、間門経由根岸駅行きあり
126系統解説	現在の126系統は2代目です。初代は鶴見駅西口から一の瀬に行く系統につけられていました。13系統の補助的な系統でしたが、それ故にあまり人気なかったのか次第に本数が削減され、ついに廃止となりました。その後本牧ふ頭地区の路線再編に際して54系統の外回り循環であった根岸駅から間門、本牧方面を先に通り、本牧ふ頭地区を循環する子系統が独立しこの番号が与えられました。原則として根岸駅からの循環線ですが、ダイヤによっては根岸駅発の本牧原止まり、本牧原発の根岸駅行きが運行されます。本牧原発は循環とは逆回り(逆回り循環線は引き続き54系統で運転もされています)で運行されま						
127	横浜駅前	桜木町駅前、日本大通り駅県庁前、中華街入口、元町、本牧、間門、本牧市民公園前	本牧車庫前	本牧 浅間町		C	
127系統解説	2004年2月1日のみなとみらい線開業に伴い、本牧方面からみなとみらい線の駅へのルートとして105系統(間門経由)から分離独立した系統です。横浜駅から桜木町駅を経由し、桜木町駅から間門までは99系統と同じルートを走り(日本大通り駅県庁前、中華街入口、中区分庁舎前、元町、本牧経由)、間門で左折して本牧車庫に至ります。						
128	鶴見駅前	汐鶴橋、向井町2丁目、京三製作所前	ヨコハマアイランド ガーデン	鶴見		B	平日朝夕は頻度A
128系統解説	元ワイルドブルーヨコハマ(屋内大規模プール)の跡地に建設された大規模マンションへの足として2004年4月に運行を開始した路線です。路線は15系統(向井町先回り)と同じルートを京三製作所前まで走り、ヨコハマアイランドガーデンの構内にあるバス停へ入ります。横浜アイランドガーデンの住民輸送という側面と横浜アイランドガーデン一つ手前のバス停になっている京三製作所への通勤輸送も兼ねた路線になっています。						
129	新横浜駅前	八反橋、三枚町、旭硝子入口、西谷駅前	鶴ヶ峰駅	港北		C	中型車運行多数
	新横浜駅前	八反橋、三枚町、羽沢団地、旭硝子入口	旭硝子前	港北		MC	平日朝のみ運行 中型車運行多数
129系統解説	新横浜駅と鶴ヶ峰駅。遠いようで意外と近いのがこの2駅です。この2駅を結ぶのが129系統です。121系統同様、新横浜駅から又口橋、八反橋に行きます。八反橋からは121系統とは異なり天屋方面に行きます。三枚町で右折し、東泉寺前で左折します。三枚町から東泉寺前間は121系統と129系統の新横浜駅行きが通りの上り、下りをそれぞれ走ります。平日朝は旭硝子で折り返しますが、その時間帯以外はそのまま梅の木へ進み梅の木交差点で右折します。そして西谷駅を経て鶴ヶ峰駅に着きます。						
130	上永谷駅前	永野新橋、野庭団地センター前、野庭中央公園、清水橋	港南車庫前	港南		IC	
	上永谷駅前	丸山台、野庭団地センター前、野庭中央公園、清水橋	港南車庫前	港南		IC	港南車庫発のみ運行

## 7. 121系統から140系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
130系統 解説	2006年3月27日の野庭、港南地区の改変により登場した路線です。旧45系統の野庭車庫への出入線、野庭団地センター前経由を野庭中央公園より先港南車庫前まで延長した路線です。この出入線は野庭車庫時代野庭車庫発のみ丸山台経由がありましたが、130系統にも引き継がれ港南車庫発のみ丸山台経由が1または2本運行されます。基本的には港南営業所の45系統、112系統などへの出入路線ですが入出庫時のみだけでなく1時間に1本程度運行されています。						
131							
(旧) 130,131 系統解説	2002年4月11日まで、パシフィコ横浜から桜木町、県庁、中華街、元町、市庁前、伊勢佐木町、野毛といった観光地 / 官庁街を結ぶ都心循環バスが運転されていました。通称Yループバスといい、(旧)130系統が内回り、131系統が外回りで運行されていました。元々は横浜博覧会(平成元年)の開催にあわせて設定された路線でした。運行開始当初は桜木町駅から終点のないエンドレスな循環バスだった(また、経由地も多少違っていました)のですが、1994年にパシフィコ横浜を起終点とする循環バスとなりました。車両はカラフルな塗装(運行開始当初は横浜市電のかつてのカラーに合わせた色でした)の中型の専用車を使用していましたが、後年その車両が廃車になると一般車による運行となりました。						
132							
132系統 解説							
133	根岸駅前	市電保存館前、岡村町、笹塚	上大岡駅前	滝頭		C	土曜、休日は日中のみ運行
133系統 解説	根岸駅と上大岡駅を結ぶ路線です。運行開始当初は上大岡駅で折り返しが出来なかったこともあって上大岡駅の先、港南区総合庁舎まで行っていたのですが、上大岡駅までに短縮されました。根岸駅を出て、プールセンター前で右折し、下町、滝頭、市電保存館前、岡村町と行きます。笹塚で右折し、上大岡駅向かいます。全線のほぼ8割以上が狭い道路という路線です。						
134	本牧車庫前	和田山口、みなと赤十字病院、柏葉、山元町、伊勢佐木町	桜木町駅前	本牧		C	中型車運行多数
134系統 解説	都心循環バスがかつて走っていた柏葉地区の救済の意味がある路線です。本牧車庫を出ると8系統と同様のルートを通り、みなと赤十字病院まで行きます。みなと赤十字病院は2系統、58系統(子系統)の起終点バス停である病院の前のバス停に立ち寄ります。みなと赤十字病院でUターンして本来た道に戻り、見晴橋の所に出てきます。134系統はその交差点を左折し、見晴トンネルに入ります。トンネルを抜けて本牧通りの本郷町のバス停近くの交差点に出ます。交差点を右折し本牧通りに入り麦田町まで走り、交差点を左折し柏葉、山元町に向かいます。山元町からは石川町5丁目、伊勢佐木町、日ノ出町1丁目、野毛町を経て桜木町駅に入ります。 本牧地区と伊勢佐木町、野毛地区を結ぶ便利な路線なのですが、1時間に1本しかないこととダイヤが割に乱れやすいのが欠点となっています。現在、専用車が2台運用に入りますが、それだけでは全運用がまかないきれないため、通常の車両も一日何回か必ず運用に入ります。2002年3月17日までは小港～港湾病院(現在のみなと赤十字病院)～小港間が往復する経路になっていましたが、見晴トンネルを経由するルートに変更になりました。						
135	根岸駅前	馬場町、脳血管医療センター前、市電保存館前(循環)	根岸駅前	滝頭		C	小型車(リフトバス)運行

## 7. 121系統から140系統

系統番号	起点	途中経由地	終点	担当営業所	共同運行	運行頻度	備考
135系統 解説	1992年8月2日にオープンした脳血管医療センターへの足として同じ日から運行を開始した路線です。根岸駅からしばらくの間は78系統、133系統と同じルートを行きますが、坂下公園の先を直進し、根岸地区センター近くの馬場町を経由します。根岸橋を渡り、しばらく国道16号線をしばらく走った後で左折し、狭い道を脳血管医療センターへ行きます。						
136	中山駅前	中山町、境、上白根町入口	よこはま動物園	若葉台 保土ヶ谷	相鉄	C	主に日中のみの運行 相鉄はひかりが丘団地経由(共通定期券の取り扱いなし)
136系統 解説	1999年4月のよこはま動物園開園に伴って新設された路線です。今まで中山駅から上白根町方面は相鉄バスの鶴ヶ峰駅方面のみのバスのみだったのですが、今回相鉄バスのエリアに市営バスが参入しました。中山駅の南口から西村橋方向に行くのですが、運用の関係上緑営業所ではなく若葉台営業所が路線を担当しています。ゴールデンウィークや長期休暇時などは臨時便が運行され運行本数が増えるようですが、それ以外は1時間に1、2本程度の運行です。						
137							
137系統 解説							
138							
138系統 解説	この系統と後述の139系統はもともと神奈中バスが運行していた路線に後から市営バスが乗り入れてきた路線でした。従って、系統番号は当時の神奈中バス(港38系統、上39系統)にあわせて138、139系統となりました(通常は神奈中バスが市営バスの番号にあわせませす。他の民営もほぼ同様)。開設当時は小山东地区の循環線でしたが、平成10年1月より本郷台駅まで延長となりました。延長と同時に、神奈中バスの系統番号が市営バスと同一のものになりました。その後神奈中バスへの移譲対象路線となり、2006年3月26日をもって市営バスの運行は終了しました。これにより、本郷台駅へ市営バスが乗り入れることがなくなりました。						
139							
139系統 解説	こちらは上大岡駅から本郷台駅に行く路線でした。港南車庫入口の一つ先の原までは鎌倉街道を走り、そこから先は新しくできた道路を走り、本郷台駅に行く路線でした。本郷台駅は138、139系統が乗り入れる前までは1日に数回、(旧)40系統が乗り入れていましたが138、139系統の路線延長にあわせて廃止となりました。その後神奈中バスへの移譲対象路線となり、138系統同様2006年3月26日をもって市営バスの運行は終了しました。これにより、本郷台駅へ市営バスが乗り入れることがなくなりました。						
140							
140系統 解説	横浜博覧会が終了した後で出来ました。開業当時は桜木町駅から横浜館・臨港パーク行きとして、1台のバスが30分おきに桜木町駅と横浜館・臨港パーク(現在の路線とは経路がだいぶ異なり、高島町付近まで行って曲がっていました)を行ったりきたりしていました。その後、みなとみらい21地区の発展に伴い、何度かの路線の変更が行われて最終的には山下ふ頭～パシフィコ横浜という路線となっていました。1999年9月10日に「ワールドポーターズ」、「赤レンガパーク」への路線整備が行われ、その際140系統は89系統・141系統に統合される形で廃止となりました。						